



津波に耐えたこの詩碑と駅の階段の一部をそのまま残して建設されたのが島越ふれあい公園です。公園内には幾度もこの地を襲った津波の犠牲者の芳名を刻んだ慰霊碑も建立され、震災と津波の脅威と教訓を伝えていきます。

島越地区はこれまで何度も津波の被害を受けながら復興してきましたが、東日本震災では津波が辺りを襲い、甚大な被害が出ました。島越駅もホームに続く階段の一部を残して跡形もなく流されたのです。しかし駅前にあった宮沢賢治の詩「発動機船第二」を刻んだ石碑は、大きな破損もなく奇跡的に残されました。

田野畑村島越地区は村役場から南東に5kmほど離れた山あいの集落です。漁業従事者も多く、震災前の島の越漁港ではワカメやサケ、ウニ、アワビなどの漁が盛んで、近くの島越海水浴場にも多くの親子連れが訪れていました。

流失した旧駅舎跡から約100m北の高台に再建された三陸鉄道島越駅。昭和59年(1984)の三陸鉄道開業以来、地域の玄関口を担ってきた海に臨む旧島越駅は、震災時の巨大津波によって跡形なく消え去った



巨大津波によって流失した旧島越駅跡地に整備された公園。津波に耐えた宮沢賢治の詩碑が被災当時の姿のまま佇む。語り部ガイドは震災遺構 明戸海岸防潮堤 (P28) と同じく体験村・たのはたネットワークで受付



巨大津波による流失を免れて残された旧島越駅につながっていた階段の一部。そばにはこの辺りを襲った津波到達高(17.9m)を示した「津波高表示塔」も設置され、巨大津波の脅威をまざまざと感じさせる

●たのはたむら

田野畑村

島越ふれあい公園

●しまのこしふれあいこうえん

宮沢賢治の詩碑が伝える津波の事実



最大震度 4

浸水面積 1km²

最大浸水深 28.33m



全壊 225棟

半壊 45棟

一部損壊 11棟



死者 17人

行方不明者 15人

負傷者 8人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●しまのこしふれあいこうえん

島越ふれあい公園

☎ 0194-33-3248(田野畑村総合観光案内所) MAP P112E2

📍 田野畑村松前沢1-4、1-52

🚗 三陸沿岸道路田野畑中央ICから車で10分

👤 見学自由

🅇 あり(大型バス:近くの島越駅に駐車可)

考えてみよう

Q1 宮沢賢治は現在の花巻市出身の詩人・童話作家ですが、田野畑村とはどのような関係があるのでしょうか?

また、なぜ駅前に彼の「発動機船第二」の詩碑があったのでしょうか?



A1 宮沢賢治は田野畑から船に乗った時、その情景を3つの作品に記した。それが「発動機船」で、第二の歌碑が島越駅に、第一と第三は田野畑駅にある。